

学校評価の公開にあたって

- ▶ 朋愛幼稚園は、1949年（昭和24年）に開設されました。そして、地域の皆さまのもと今年70周年を迎えました。

朋愛幼稚園は教育の質を高めるとともに多様なニーズに答えられるための活動のひとつとして、来年度4月から「学校評価」を正式実施いたします。今回、トライアル中の2019年度取組状況を中間報告としてご報告いたします。

保護者・地域・学校関係者等と共に連携しながらの活動です。今後とも朋愛幼稚園に皆様のご理解ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年8月吉日 園長

2019年度 学校評価 中間報告

学校法人 朋愛学園 朋愛幼稚園

1. 本園の教育目標

- 幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教職員との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と充分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ▶ 幼稚園教育要領が改訂されたことを踏まえて、幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者の多様なニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

▶ 評価項目①

幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。



▶ 取組状況

新幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

➡ 評価項目②

幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。



➡ 取組状況

新幼稚園教育要領にも示されているように、幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに答える必要があるか、具体的に検討を始めている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

▶ 評価項目③

教育の質の向上のために、教員の園内外研修を充実させる。



▶ 取組状況

幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎週全体会でもつようにし、自由闊達に意見が開示できる環境をつくっている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

➡ 評価項目④

保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。



➡ 取組状況

保護者との個別面談はもちろんのこと、保護者会定例会等に出席し意見収集を図るとともに、意見箱を常設しアンケートを実施。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組みつつある。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- 取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

5. 今後の取り組むべき課題

- ▶ 課題①
安全管理



- ▶ 具体的な取り組み方法

不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応が充分ではないので、施設面での対応と教員の意識づけ、保護者からの情報収集、並びに危機管理マニュアルに沿った訓練を定期的に行う。

5. 今後の取り組むべき課題

- ▶ 課題②
特別支援教育



- ▶ 具体的な取り組み方法

子どもに対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との巡回指導や定期的連絡を取り合い、さらに保護者の負担軽減が図れるよう検討したい。



5. 今後の取り組むべき課題

▶ 課題③

園に対する保護者の満足度の把握



▶ 具体的な取り組み方法


建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。



6.学校関係者の評価

(保護者、地域の学校関係者による)

- ➡ 現在の活動に対して、特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。



7. 財務状況

- ▶ 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。